

会 議 録

1 会議名	平成21年度第6回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成21年11月13日(金) 午後1時00分～ 3時40分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 太田正, 手塚敏子, 古橋悟一, 江連功, 小野久男, 柏木聖子, 神山光男, 北見和弘, 北見幸夫, 柴田征男, 鈴木幸男, 手塚道子, 福島照喜, 横塚境, 和田春海, 小林和美, 櫻井清一, 佐藤きよ子, 藤井直和</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 「地域のまちづくりに関する施策の提案」についての回答</p> <p>3 「地域のまちづくりに関する施策の提案」について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 前回の提案書について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 提案のながれと今後のスケジュールについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開会	
第6回宇都宮市上河内自治会議開会	
2 「地域のまちづくりに関する施策の提案」についての回答	
平成21年3月23日に提出した「地域のまちづくりに関する施策の提案」について市長代理として自治振興部参事から宇都宮市上河内自治会議へ回答を提出	
3 「地域のまちづくりに関する施策の提案」について	
(1) 前回の提案書について	
会長	・はじめに, 前回の提案について事務局から説明願う。
事務局	(前回の提案の内容について説明)
(2) 提案のながれと今後のスケジュールについて	

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市長からの提案に対する回答では、地域づくりに向けた取り組みを地域とともに進めていきたいとの強い決意を示していただいた。 ・今後、自治会議としては、引き続き平成21年3月にまとめた提案をベースとして検証し、加えるもの、修正するものを十分に議論しながら、より充実した提案内容とする。 ・提案は市に向けたものであるが、ただ単に市に対してお願いするものではない。まずは住民一人ひとりが提案を受け、地域で出来る限りの取り組みを行う中で、環境整備や支援を求めたものである。 ・今回示された回答は、一部、地域に即した具体的なものもあるが、全体としては、市の取り組み姿勢や考え方など、基本的な方向性がまとめられている。これは今年1年という短い期間の中で全て行うものではなく、これをスタートラインとして市と地域が一体となり豊かなまちづくりを進めていくものになる。 ・回答について各委員から意見を求める。
<p>全委員</p>	<p>(意見・質問なし)</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この提案をスターラインとして、さらに検証、検討しながら提案内容を高めていくとともに、具体化を図っていく。 ・次に、「提案のながれ」と「今後のスケジュール」について事務局から説明願う。
<p>事務局</p>	<p>(資料3-1「地域のまちづくりに関する施策の提案のながれ」について説明)</p> <p>(資料3-2「今後の上河内自治会議スケジュール(案)」について説明)</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提案した時と状況が異なるのは、まちづくり協議会が今年度末に発足することである。今後は住民主体のまちづくり活動と自治会議が相互に補完しながら、地域のまちづくりを進めていきたい。また、その過程で地域行政機関である上河内地域自治センターや本庁との関係も築いていきたい。 ・次に、提案のながれ(資料3-1)について整理する。 資料には地域のまちづくり活動を主体的に行うまちづくり協議会が、新たに加わった段階での自治会議との関係及び提案、まちづくりについて示されている。提案としては2つあり、一つは地域の将来の目標とそれを実現するための施策であり、前回の提案をベースとして議論を重ね、より豊かなものにしていく。これが地域のビジョンである。もう一つは実際にまちづくり活動を進めるうえで、費用の問題などの

	<p>環境整備やアドバイスを含めた支援策などについての提案である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の検討に際してはまちづくり協議会からの意見や実践的な取り組みについて情報提供をいただき、自治会議として検討する。検討結果はまちづくり協議会に返すなどし、内容を詰めていく。 ・自治会議は条例に基づく行政の附属機関であるが、単なる行政の附属機関ではなく、地域に寄った機関であると考えている。自治会議の有利な条件を活かし、宇都宮市全体にとって見本となるまちづくりを進めていきたい。 ・提案のながれについて、各委員から意見を求める。
全委員	(意見・質問なし)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の設立状況についてまちづくりを担当している地域づくり課から説明願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称) 上河内地区まちづくり協議会」は今年度末の設立に向けて、現在9名の有志の方とともに進めている。近く地域の各種団体の長を交え準備会を設立する予定である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは次に、「(仮称) 上河内地区まちづくり協議会」設立に向け、有志のメンバーとして実際に活動している神山副会長から説明願う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり課から説明があったとおり、今年度末の発足に向け各種作業を進めている。これから各種団体に呼び掛けを行い、準備会を発足させ、その中で事業計画を作っていく。また、設立に際しては財源の確保が大きな問題である。この問題に対しては、連合自治会や単位自治会と協議を行うとともに、地域住民にも十分な説明を行い、理解を求めていく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の発足に向け、準備作業が精力的に進められているということである。発足後は協議会と連携を図りながら、自治会議を進めていきたい。 ・次に、今後のスケジュール(資料3-2)について整理する。 答申書の提出は、例年どおり来年の8月に予定している。また、提案書の提出は、平成22年度3月に予定している。提案については、前回の提案書をベースとして、調査、意見集約、まちづくり協議会との連携を十分に図りながら作り上げていく。 また、提案が絵に描いた餅にならぬよう、前回の提案を検証し、改めるところがあれば改め、追加するところがあれば追加し、具体的かつ実効性のあるものとする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な提案を実施した場合、自治会議としてどのように関わっていくのか、取り組みのスタンスについて説明願いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の質問に対しては自治会議での議論を踏まえ、意見の集約を図っていくべきものである。個々具体的なまちづくりの取り組みは、まちづくり協議会が主体となって担っていくものであり、自治会議は、まちづくり協議会と連携を図りながら、まちづくり活動における環境整備や支援策の検討を行い、まちづくりの将来の目標やそれを実現するための施策を提案していくもので、実際のまちづくり活動には直接には関わらない。これはあくまで個人的な意見であり、この見解について各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりにおける情報とはどういったものをイメージしているのか。私は日常的に活動している自治会活動や学校活動などから情報を求め、まちづくりをしていかなければならないと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議として取り扱いたい情報は、各種団体が日常的に行っている活動状況等ではない。まちづくりの目標や課題そしてまちづくり活動をより豊かに発展させていくための環境整備や支援策等についての情報といったイメージである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議の場では発言が限られてしまうため、今後、検討を進める際には、前回提案を検討した時のような、小人数のグループを設置し、検討を進めるのが有効であると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で関心のあるテーマをいくつかの分野に分けて個々に検討し、検討した結果を全体会議でまとめることはあっても良いと思う。これについては、いくつか案を示し図っていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議は具体的な内容を協議する場ではないので、前回の提案のような抽象的なものを示せばよい。あとは実際にまちづくり協議会が、示された提案の中から活動に合うものを取捨選択し取り組めばよい。 ・まちづくりと言っているがまちは既にある。まちづくりについてはこれ以上望むのではなく、現状の体制を維持していくためにはどうするかという視点に立って取り組むべきである。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議として合併時に確認された13事業の進捗状況については従来どおり行うが、今後は他の地域にはない自治会議の有利な機能を最大限に活かし、明日の上河内地域をどうするかという問題に軸足を移し、まちづくり協議会と連携を図りなら取り組んではどうかと考えて

	<p>いる。これはあくまで個人的な意見であるため、委員が今後の活動も従来までの取り組みと同じでよいというのであればそれでもよいと思う。今後の自治会議の取り組みについて各委員から意見を求める。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の意見に賛成である。一番最初の自治会議の中で自治振興部が説明していたと思うが、河内や上河内の自治会議から発信される情報が、宇都宮市全体のレベルアップに繋がれば、全市にそういうようなものを普及させていきたいと言っていた。13事業の内容をチェックするだけではなく、市民生活の向上や地域づくりの向上になるような意見が市全体に反映させていきたいということがあったので、自治会議としても地域のまちづくりについて力を入れていく必要があるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も今の委員の意見や会長の意見と同じである。 ・まちを変えていくために最も必要なことは、地域の将来を担う子ども達を変えることである。子ども達が自分の住んでいるまちは自分たちで良くするという自覚を持ち、各種活動に取り組めば、必ず将来そのまちは良くなっていく。しかし、実際に改善がみられるまでには、大変時間がかかるが、本当のまちづくりとはこういったものであると考えている。まちづくりは地域住民一人ひとりが、思いやりの心を持って自発的に取り組んでいかなければならない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の上河内自治会議スケジュール（案）の中で提案についての流れがあるが、今後、限られた時間の中で答申や提案の検討をどのように進めていくのか。提案の検討は平成22年度3月提出まで通して行うこととなっている。間には答申の検討も入ってくるが、その時期はどのように取り組んでいくのか具体的に示してほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・答申自体は、市長からの諮問を受ければスケジュールのどおり8月に答申書を提出する。答申書の取りまとめ時期においては答申に比重を置き、提案とはある程度切り分けて取り組んでいきたい。提案や答申を検討する際の具体的な工程やグループ編成等については、別途示させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議の役割は市長の諮問に対する答申と地域のまちづくりに関する施策の提案があり、提案は市長に対するものと地域に対するものの2とおりである。まちづくり協議会は提案の中から実行できるものを選び、参考にしながらまちづくりを進めていくものであると理解して

	いる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・提案を参考にまちづくり協議会が活動していくうえで問題が出てきた時に、自治会議で協議して市長へ提言していくことが、自治会議としての役割である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議の提案にまちづくり協議会は必ずしも全て従うものではない。自治会議の提案に全て従うということになれば、自治会議とまちづくり協議会で上下関係が生まれ問題になるのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案は地域の意向を反映させたものであるが、まちづくり協議会はその全てを実行するものではない。提案の中から実行できるものを選び、参考としながらまちづくりを進めてもらえばよい。まちづくり協議会は自治会議の下請け機関ではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・提案は行政が作るのではなく地域の代表が作るものであり、そのため、内容はより具体的なものとし、読んだ時にイメージの湧くようなものとしなければならない。 ・まちづくり協議会としては、既存の事業を含め、よりよいまちとするためにどうするか、ソフトやハードの面などの全ての面から内容を検討し取り組んでいかなければならない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の自治会議とまちづくり協議会の関係などについて、活発な意見交換が行えた。 ・「3 その他」について各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会が発足となった段階で、情報交換を行う必要があるのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会議とまちづくり協議会との情報交換については別途図ることとし、情報交換の場を設けて連携を密にしていくということによいか。
全委員	(異議なし)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関しては自治会議の提案は大変よいものである。今後はまちづくり協議会がこの提案を参考としてまちづくりを進めてもらえればよいと思う。 ・今後、まちづくりを進める際に必要となる環境整備や予算については、地域行政機関である地域経営課や地域づくり課にお願いした方が分かり易い。 ・区画整理やスマート IC 事業が完成することで、地域の交流人口も増えるため、拠点整備に係る具体的なものがあれば市にお願いし、新たな事業についても、今後、自治会議で検討するべきである。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、自治会議として検討を進め内容を詰めていく。 ・その他、各委員から意見を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・9月議会で高橋議員が大型商業施設について質問しているが、詳細について教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・11月24日以降に議事録がホームページに掲載されるので、そこで確認いただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で、第6回宇都宮市上河内自治会議を終了する。